

年 組 名前：

インフル急拡大で治療薬不足

インフルエンザの早期流行
 などをを受け、山梨県内で治療
 薬の品薄が深刻になっていま
 す。せき止め薬が3カ月以上
 入荷せず、小児用の抗インフ
 ルエンザの粉薬が不足するな
 ど、薬局は医薬品の確保に苦
 心。薬剤師が不足する種類とは
 別の処方医師に提案したり、
 大人用のカプセル薬を分解して
 子ども用の容量にしたりして



空になったせき止め薬のケースを見る管理薬剤師
 —甲府市内

います。品薄の背景には、ジェネリック医薬品（後発薬）のメーカーによる製造工程や品質不正の問題などがあるといいます。厚生労働省はインフルエンザの急拡大で一部の薬は在庫が少なくなったとして、過剰な発注を控えるよう呼びかけています。人の動きが激しくなる年末年始を前に、医療関係者は「薬の確保は綱渡りの状態で、流行が拡大すれば調達が難しくなる」と不安を募らせています。

(2023年12月14日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと10面)

問1 山梨県内で治療薬が品薄になっています。どのような薬が、3カ月以上入荷していませんか。

.....

問2 薬局では、どのような対応をしていますか。2つの方法を答えてください。

.....

.....

問3 品薄になった理由を答えてください。

.....